

平成27年度行政評価シート【個表】

平成 27 年 6 月 24 日

評価対象事業		評価者	経営企画課 担当課長 大隅 啓一
経企-03 行財政改革推進事業		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課 経営企画課
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課 行革推進課
総合計画上の位置付け	分野	行財政運営	施策の方針
			行財政運営

1 事業の目的

対象	市職員等
意図	本市の厳しい行財政運営の中、限られた行政資源を効果的・効率的に運営するため。
効果	健全で市民にわかりやすい効果的・効率的な都市経営の実現

2 平成26年度に実施した事業の概要

・事務事業評価、施策進行評価を実施するとともに、一部の施策については、外部評価を実施した。

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度当初予算		26年度決算		備考
	データ区分		データ区分		
人口等のデータ	人口	177,243人	人口	177,464人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
	世帯数	80,676世帯	世帯数	80,368世帯	
	事業の対象者数		事業の対象者数		
運営資源状況	当初予算(千円)	1,194	決算値(千円)	379	
	国県支出金		国県支出金		
	地方債		地方債		
	その他		その他		
	一般財源	1,194	一般財源	379	
	人員配置数	2.0	人員配置数	2.0	
事業経費運営	人件費(千円)	15,880	人件費(千円)	15,203	
	総事業費(千円)	17,074	総事業費(千円)	15,582	
	市民1人当りの経費(円)	96	市民1人当りの経費(円)	88	
	対象者1人当りの経費(円)		対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

平成26年度事業実施にあたっての課題	第3期基本計画の策定と合わせて、新たな評価制度を構築し、平成27年度以降、評価結果を計画の進行管理及び予算編成に連動させていく必要がある。
課題解決のために行った平成26年度の取組	第3期基本計画の施策体系に合わせ、すべての事務事業の体系を整理し、これまでの事務事業評価及び施策進行評価を一体的に評価することで事務の簡素化をすすめ、さらに評価結果を総合計画の進行管理や予算編成等と連動できる仕組みを構築した。
未解決の課題 新たな課題	新たな行政評価制度を着実に実施していく。


効率性	事業費に削減余地はないか	1. ある
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいか	2. 廃止・休止による影響は小さいがある
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいか	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-1. 既に市民等と協働して事業を実施しているが、協働のあり方等の見直しが必要である 協働実施済の場合のパートナー 市民評価委員

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す →	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →				事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	これまでと同様に鎌倉市民評価委員会による外部評価を効果的に行い、市の施策に反映させていく。		
総評	新たに構築した評価制度を元に、鎌倉市民評価委員会による評価結果を施策に反映させながら、新しい魅力を創造し続けるまちづくりを行っていく。				

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)

比較事項	外部評価の実施							
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	横須賀市	逗子市	三浦市		
他市実績	○	○	○	○	○	○		
比較事項	事務事業評価における指標設定率 ※各市公表されている最新のデータを記載しています。							
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	横須賀市	逗子市	三浦市		
他市実績	目標:100%	-	-	-	-	-		
	74.8%	23.0%	90.4%	-	100.0%	100.0%		
比較事項	実施計画の進行管理の結果を公開している自治体 ※各市公表されている最新のデータを記載しています。							
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	横須賀市	逗子市	三浦市		
他市実績	○	○	○	○	○	○		
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	外部評価については、各市実施しており、本市についても引き続き外部評価を行います。外部評価を適格に行うためにも事務事業評価の指標設定率の向上、及び引き続き実施計画の進行管理の結果の公開を実施します。							

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	事務事業評価における指標設定率						単位	%	指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
適切に総合計画を進行するために、事務事業評価において指標を設定する必要があるため。	目標値	80.0	85.0	90.0	95.0	100.0	-				
	実績値	74.8									
	達成率	93.5%									
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	第3期基本計画の進行管理に必要な指標設定率は比較的高いが、客観的評価を行うためにも指標設定率をより向上させていく。また、市民の理解を得られる適格かつ客観的な基本計画の進行管理を行い、基本計画の将来都市像の実現を目指す。										

● 事業に関する特記事項

<input type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---